



第2圖 焼戻硬度曲線

600°Cまで加熱し再び常温まで爐冷した場合の長さの變化を連続的に測定した。920°C油冷の場合には900、940°C空冷の場合に比して140~180°C間にわたる $\alpha \rightarrow$

βM の收縮が明瞭にあらわれ、焼戻後の收縮量も大きい。940°C空冷の場合G-12, G-17等には $\alpha \rightarrow \beta M$ の收縮は殆ど認められない。又940°C空冷の場合520~550°C附近より残留オーステナイトの分解が膨脹として僅か認められる。

III. 結 言

以上C 1%, Mn 0.85%, Cr 5%, Mo 1%に一定してVを變化させたものと同じC, Cr, MoにVを0.3%に一定してMnを變化させたものにつき試験した結果、Mn, Vによつて自硬性が増大し空冷によつて容易に硬化しRc 64程度が得られ、且焼入變形はMn 0.79, V 0.86%のものが最も小さく、又Mn 0.87, V 0.31%及びMn 1.45, V 0.29%のものもかなり良好であることが判明した。

— 元工手學校より工學院大學に至る出身者に急告! —

工學院大學校友會が四月に發足して歩を固めつゝあります。同學園の大學、高等學校、專修、工業専門、工學院、工學院工業學校、工手學校出身者の利便を計るため特殊名簿を作りますから氏名、住所、科別卒業回数、勤務先及事業品目特技等記入して同大學校友會にお知らせ下さい。尙知人も併せて御願ひします。校友會は諸兄の種々の御相談に応じます。又、談話室を會合に御利用を乞ふ。住所をお知らせ下さる折は日本鐵鋼協會誌によると記入願ひます。

東京都新宿區角筈二の九三
工學院大學校友會
電話澁橋(37)0585